

JIS A 5548 タイプI F★★★★

JAIA 4VOC基準適合

石材・タイル張り用 弾力性接着剤 ME-03

官民共同研究品質基準(案)適合品

ME-03は石材及び外装用タイル張り付け施工用として開発された、1液反応形の変成シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤です。硬化後はゴム状の弾力性を持つ為、下地の変形や熱膨張などによる応力を緩和します。



変成シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物 可燃性固体類

容量	包装形態	梱包単位
15kg	缶	1
3kg	アルミ袋	5
320ml	カートリッジ	10×2

標準使用量

小口平タイル 乾式二丁掛けタイル	石 材
2.0~2.5kg/m ²	2.5~3.0kg/m ²
0.4~0.5m ² /kg	0.3~0.4m ² /kg
6.0~7.5m ² /15kg	5.0~6.0m ² /15kg
1.2~1.5m ² /3kg	1.0~1.2m ² /3kg

用 途

適用箇所	屋外及び屋内の壁面 (屋外は中低層のRC造り建築物)	
適用下地	内装	モルタル、けい酸カルシウム板、石こうボード、スレートボード、合板
	外装	コンクリート、モルタル
適用タイル	内装	陶磁器質タイル(厚み13mm以下)
	外装	磁器質タイル、せっき質タイル、 ・厚み10mm以下 ・小口平タイル、乾式二丁掛けタイル以下
適用石材	天然石材、人造石材 (300角 厚み15mm以下) ※石こうボード、ALC板下地、窯業系サイディングボードには石材を施工しないで下さい。	

性 質

外 観	灰色 マスチック状	
主 成 分	変成シリコーン・エポキシ樹脂	
張 付 け 可 能 時 間	10°C(屋内)	120分以内
	23°C(屋内)	90分以内
	30°C(屋内)	40分以内

使用方法

【下地の調整】

- モルタル下地の場合
下地は、平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
- ボード類下地の場合
タワミのない厚手の合板またはパーティクルボードを使用し、目違いや目地あきのない下地とします。

【下地の調整及び清掃】

- 1.モルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材(リフロアーF)で平滑にします。
- 2.モルタル下地のもろい部分やレイトランスは必ず取除いてから下地補修材(リフロアーF)で平滑に仕上げます。
- 3.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取除きます。

【下地の調整及び清掃】

- 1.割り付け図面に従って墨出しを行いません。

【接着剤の塗布(クシ目ゴテ使用の場合)】

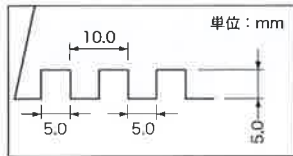
- 1.接着剤は左官ゴテを用いて下地に押し付ける様に、均一に(3~4mm厚)塗布します。

チェック：1回の塗布面積は張付け可能時間内に仕上げ材を張り終えることのできる面積として下さい。



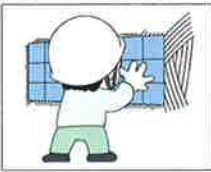
ME-03

2. 接着剤を塗布した後、クシ目ゴテを（右図）を用いて均一にクシ目をたてます。



【仕上げ材の張り付け】

- クシ目を立てた後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。チェック：張付け可能時間は環境により異なります。
- 仕上げ材は揉み込むようにして張り、裏面全体に接着剤がなじむように叩き板などで充分に圧着します。
- 約2m²ごとに仕上げ材を1枚剥がし、仕上げ材裏面に接着剤が70%以上付着している事を確認します。チェック：・仕上げ材表面に付着した接着剤は硬化する前にシンナーなどを含ませた布で拭き取って下さい。
・目地直しは、接着剤が硬化する前に行ってください。



【養生】

- 施工完了後、接着剤を硬化させるために夏期1日以上、冬期は3日以上は外力が加わらないように養生します。

【目地詰め】

- 目地詰めを行う前に仕上げ材のズレがなく、また接着剤が硬化している事を確認します。
- 目地詰めを行ないます。チェック：伸縮目地部や設備機器との取り合い部には弾性目地を充てんしますので、セメント系目地材を塗り込まないで下さい。



【端部の処理】

- 入り隅部はのみみ込みとしないで弾性目地を設けます。また器具との取り合い部にも弾性目地を設けます。チェック：弾性目地が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。



取扱い上の注意事項

ME-03を使用する前に以下の項目に注意して下さい。

- 空気の対流が少ない箇所で使用すると臭気が残る可能性があります。使用に際しては当社営業にお問い合わせ下さい。
- 接着用途以外には、絶対使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤と混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境下で使用・保管して下さい。
- 取扱い場所及び作業場所は換気を行って下さい。又、施工後も接着剤が硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕1～2時間）を行って下さい。
- 可燃性があります。使用時・取扱い場所は火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」などに従って下さい。
- 蒸気を吸入したり、皮フに触れたりすると健康障害や皮フ障害（特にカブレ）などを起こすことがあります。取扱い時には、必要に応じて保護具を着用して下さい。（アレルギー体質の人は特に注意して下さい。）
- 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。（数日で硬化します）
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時には、直ちに使用を止め、換気の良い場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、製品安全データシート（MSDS）をご参照下さい。
- ME-03をご使用になる前には、商品容器の表示事項を



可燃性あり 有害性あり 皮フ刺激性あり 火気厳禁 吸入注意 接触注意

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされませうお薦めします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿勤町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-419-1005

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621	技術開発 TEL: 0584-89-8111 センター FAX: 0584-87-0010	

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

Eメールアドレス (会社窓口) info@tilement.co.jp

関連企業 ◆株式会社イヅカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.